



学校便り

佐渡市立金井小学校 令和7年6月30日 第4号

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> E mail : kanai-es@sado.ed.jp

6年生の姿に「ありがとう」

校長 森 和人

6年生が、今月修学旅行に行ってきました。旅行先は会津若松です。今年
の活動の大きな変更点は、教師の目を離れる自由行動があることです。10グル
ープが、それぞれ行先や移動に使用するバスを決めます。昼食場所も自分たち
で決めます。マナーや緊急時の対応など事前指導をして、あとは子供たちを信
じて各グループの出発を見送りました。少々予定通りにいかなかったところも
あったようですが、無事に最終集合場所に全員集まることができました。

まもなくして、学校から連絡がきました。それは、あるグループが昼食場所
に選んだ会津若松のお店が、学校に電話で知らせた以下の内容についてです。

今までいろいろな修学旅行生を見てきたが、ダントツで礼儀正しかった。
お皿を片付けるときに、一人一人が「おいしかったです。ごちそうさまで
した。ありがとうございました。」と言ってくれた。トイレを借りた後に
「使わせていただきました。ありがとうございました。」とお礼をしてくれ
た。とても感動した。

子供たちを信じて自由行動を実施した分、この連絡はとても感動しました。そ
して、自然と感謝の言葉が言える子供たちの姿を誇らしく感じました。

6年生の素晴らしい姿を下級生にもまねしてもらいたいと願い、全校朝会で
この内容と、感謝することで幸せにつながる話をしました。幸せになる理由は
2つあります。1つ目は、ポジティブな感情になるからです。自分に与えられ
た言動に感謝することで、満足感、楽しさ、喜びが大きくなります。2つ目は、
人間関係がよくなるということです。

今回の6年生のように、自然と感謝の言葉が出てくるのは、習慣
化された状態になっているからだと思います。そのためには、身近
な環境の中で「ありがとう」の言葉が使われ、そして耳にする必要
があります。つまり、家庭内・学校内での環境が大切ということ
です。家庭内であれば、まずは大人同士や親から子へ向けて感謝の言
葉を使ってみるとよいかと思います。学校でも「ありがとう」の言
葉がたくさん聞かれるように努めます。

